

城下町高田の町家を再生したサテライトオフィスを設置  
(平成28年度:ふるさとテレワーク推進事業)

## 事業概要

北陸新幹線、上信越・北陸自動車道をはじめとする交通インフラや、子育て・教育・医療・福祉、買い物などの都市インフラの整備が進んだ高田中心市街に、城下町高田の歴史・文化を象徴する町家を再生し、都市部から移動した社員が生活に“ゆとり”と“快適さ”を感じつつ、都市部と変わらない業務に従事できる機能を備えたサテライトオフィスを整備。

## 上越サテライトオフィス



築130年の町家をリノベーションしたオフィス(外観)

古い漆喰を残し、落ち着いた雰囲気を持つ  
集中できる執務室

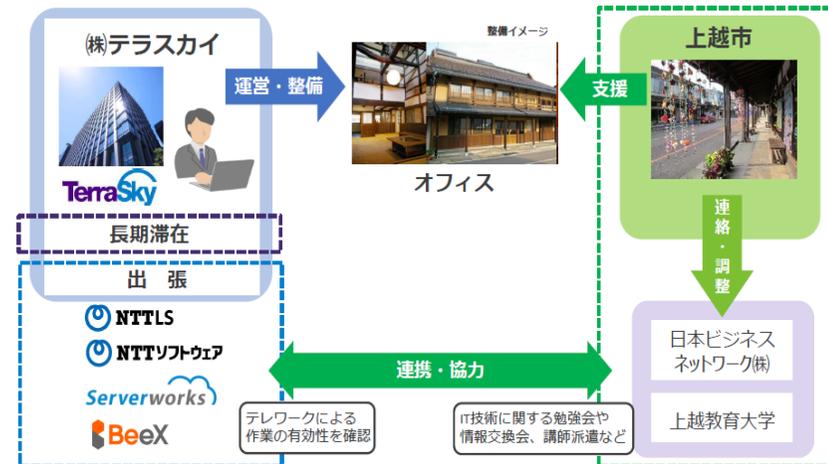
高田の町家の特徴である  
高い吹抜を残した、歴史を  
感じられる空間



昔の建具をを使いつつ、最新のテレビ  
会議システムを備えた会議室



掘りごたつ式のミーティングスペース。  
リラックスして活発な会議が可能



住所	新潟県上越市本町6-4-22
アクセス	えちごトキめき鉄道 高田駅から徒歩7分
利用対象者	株式会社テラスカイの社員、コンソーシアムメンバー企業
収容人数	執務室 8名、ミーティングスペース 10名、会議室 10名
可能業務	製品開発、保守管理業務、テレビ会議

[URL]<https://telework.soumu.go.jp/cont1-joetsu>

## 事業詳細

事業名称	城下町高田の快適な生活環境と事業環境をいかしたサテライトオフィス設置事業		
事業主体	株式会社テラスカイ		
支援省庁	総務省	支援事業名	ふるさとテレワーク推進事業(H28)
関係団体	【上越市ふるさとテレワーク推進会議】株式会社テラスカイ、上越市、国立大学法人上越教育大学、日本ビジネスネットワーク株式会社、エヌ・ティ・ティテクノクロス株式会社、エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社、株式会社サーバーワークス、株式会社BeeX		

## 実績・効果

- ・上越市及び糸魚川市の小学校で子供向けプログラミング教室や出前授業を実施した。

## ◆実施類型・人数 ( )内は移住人数

類型A	類型B	類型C	類型D	備考
4名(4名)	0名(0名)	0名(0名)	2名(0名)	H.31.1.1時点
5名(5名)	0名(0名)	0名(0名)	2名(0名)	R2.4.1時点
5名(5名)	0名(0名)	0名(0名)	2名(0名)	R3.4.1時点

## ◆進出企業

(株)テラスカイ

類型A: 地方のオフィスに、都市部の企業が社員を派遣し、本社機能の一部をテレワークで行う

類型C: クラウドソーシング等を利用し、個人事業主として、又は起業により、都市部の仕事をテレワークで受注する

類型B: 子育てや親の介護を理由に地方への移住を希望する社員が、テレワークで勤務を継続する

類型D: 都市部の企業が、テレワークで働く人材を、新規に地方で採用する

## 分析・今後の計画・目標

- ・遠隔地でも距離を感じさせないリアルタイムのチャットコミュニケーションやWeb会議システム、そしてそれを支えるITシステムや無線系ネットワークの導入が非常に重要だと考えており、専門知識を有せず気軽に活用できるクラウド型のサービスを導入したことで、従業員一人一人がスムーズにテレワーキングができ、円滑に事業を実施することが出来た。
- ・今後、事業計画検討の場としての活用や、上越地区での新卒向け採用活動、ちびっこ向けプログラミング教室の開催に加え、新たに出前授業の実施などを計画している。